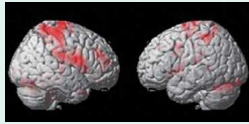


教員紹介および研究テーマ

※Emailについて:アドレスは末尾に@fukui-hsu.ac.jpをつけてください。

神経系リハビリテーションコース

副学長・研究科長(大学院)・教授 小林 康孝
博士(医学)・医師
Email:yasukaka_k
研究テーマ
●脳損傷による高次脳機能障害の病態解析
●高次脳機能障害者の社会復帰支援
●中枢神経疾患患者の歩行分析



神経系リハビリテーションコース

教授 林 浩嗣
博士(医学)・医師
Email:hkayashi
研究テーマ
●脳血管障害患者の予後予測
●神経変性疾患のリハビリテーション
●脳血管障害、神経変性疾患、認知症へのリハビリテーション栄養



神経系リハビリテーションコース

学部長・教授 堀 秀昭
博士(医学)・理学療法士・社会福祉士
Email:rpt-hori
研究テーマ
●介護予防・健康寿命の延伸
●生涯スポーツと健康増進
●地域参加型社会資源の活用
●地域包括ケアシステム



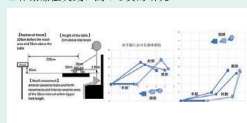
神経系リハビリテーションコース

教授 藤本 昭
博士(医学)・理学療法士
Email:akira-f
研究テーマ
●高齢者に対する転倒予測指標
●虚弱老人の介護予防対策



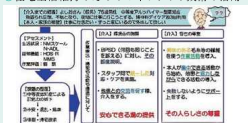
神経系リハビリテーションコース

教授 石田 圭二
博士(工学)・作業療法士
Email:ishida-ot
研究テーマ
●脳卒中片麻痺上肢の機能評価
●脳卒中片麻痺に対する上肢訓練
●上肢訓練ロボット
●作業療法実践に関する質的研究



神経系リハビリテーションコース

教授 堀 敦志
博士(工学)・作業療法士・介護支援専門員
Email:ot5458
研究テーマ
●認知症の予防および早期発見
●高齢者の住環境と満足度
●環境整備による在宅生活支援および開発
●在宅生活維持のためのマネジメント技術の活用



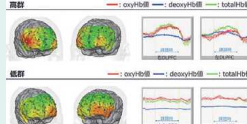
神経系リハビリテーションコース

准教授 藤田 和樹
博士(医学・保健学)・理学療法士
Email:k-fujita
研究テーマ
●歩行の臨床解析およびリハビリテーション法の考案
●産婦人科に対するリハビリテーション
●各種疾患および障害の生体運動・筋活動分析



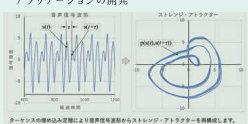
神経系リハビリテーションコース

准教授 川端 香
博士(リハビリテーション療法)・作業療法士
Email:kawabata-ot
研究テーマ
●高次脳機能障害とSelf-Awareness
●高次脳機能障害者の社会復帰支援
●脳損傷後の自動運転転回支援



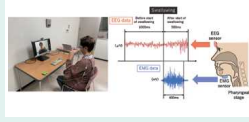
神経系リハビリテーションコース

教授 塩見 格一
博士(理学)
Email:k-shiomi
研究テーマ
●オオス理論を利用した発話音分析技術
●発話音声による脳機能状態の推定
●ストレス状態とパフォーマンス評価のためのアプリケーションの開発



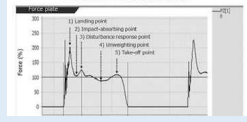
神経系リハビリテーションコース

保屋野 健悟
博士(工学)・言語聴覚士
Email:k-heyoano
研究テーマ
●社会認知機能と嚥下機能の関係
●環境因子を利用した摂食嚥下リハビリテーションの開発
●摂食嚥下障害に対するリハビリテーション栄養
●社会認知機能とコミュニケーションの関係



運動器リハビリテーションコース

准教授 近藤 仁
博士(保健学)・理学療法士・日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー
Email:hitoshi-k
研究テーマ
●足関節背屈制限による関節運動連鎖への影響
●抵抗位置の違いによる筋発揮力への影響
●スポーツ傷害と発生メカニズムとの関係



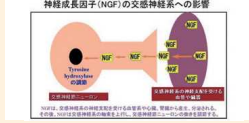
運動器リハビリテーションコース

東 伸英
博士(保健学)・理学療法士・日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー
Email:n-azuma
研究テーマ
●スポーツ傷害の評価、治療、予防策に関する研究
●検診やメディカルチェックを用いたアスリートへの支援
●学校保健領域の傷害予防に関する研究



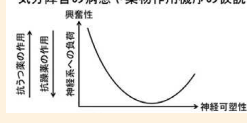
健康生活支援コース

教授 供田 文宏
博士(医学)・医師
Email:tomoda
研究テーマ
●腎臓病における腎臓小血管の異常とその原因
●高血圧での交感神経系と神経成長因子との関連
●生活習慣病におけるストレス反応の病態生理学的意義
●血液透析患者での至適透析の確立
●血液透析患者とサルコペニア



健康生活支援コース

教授 小俣 直人
博士(医学)・医師
Email:omata
研究テーマ
●内因性精神疾患の病態解明
●単一精神論の復権
●多職種が連携した研究の推進



健康生活支援コース

教授 寺島 喜代子
博士(医学)・看護師
Email:kytera
研究テーマ
●高齢者手を使った高齢者の社会復帰後の活動量とQOLの推移
●認知症高齢者に対する看護実践上の評価
●せん妄や認知症高齢者に対する看護実践上の評価
●高齢者施設での看護ケアにおける看護実践の改善
●看護実践から学びを深めるリフレクションの実践



健康生活支援コース

教授 北川 敦子
博士(保健学)・看護師
Email:akbear
研究テーマ
●脳卒中やスクワットなどの反復動作に対する全人的看護方法の確立
●終末期がん患者などのがん以外のスピリチュアルケアの展開とその方法
●慢性疾患患者が自己管理が出来る生活の再構築に個別的な要因とその支援方法
●エンディングライフケア



健康生活支援コース

教授 吉田 美幸
博士(看護学)・看護師
Email:myoshida
研究テーマ
●医療・保健場面における子どもと家族の理解と支援に関する研究
●検査や処置を受ける子どもの体験
●検査や処置を受ける子どもに付き添う家族の体験
●医療・保健場面における子どもと家族への支援



健康生活支援コース

准教授 近田 真美子
修士(看護学)・看護師・保健師
Email:m-konda
研究テーマ
●精神看護学実践の現象学的研究
●重度の精神疾患を抱えた利用者の地域生活支援(AC/T/Assertive Community Treatment)



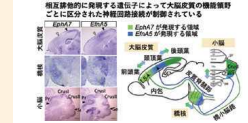
健康生活支援コース

准教授 吉江 由加里
博士(保健学)・看護師
Email:y-yoshie
研究テーマ
●回復期リハビリテーション病棟看護師の多職種連携・協働モデルの開発
●専門職連携能力教育プログラムの構築
●組織マネジメントに関する研究



健康生活支援コース

猪口 徳一
博士(バイオサイエンス)
Email:tiguchi
研究テーマ
●遺伝情報に基づく疾患形成の仕組みと疾患予防に関する研究
●生化学データ解析によるストレスと健康増進のための治療の探索
●実験動物や健康神経細胞を用いた神経回路解析・神経再生の研究



健康生活支援コース

准教授 吉田 美幸
博士(看護学)・看護師・保健師
Email:m-konda
研究テーマ
●精神看護学実践の現象学的研究
●重度の精神疾患を抱えた利用者の地域生活支援(AC/T/Assertive Community Treatment)



VOICE

TEACHER'S VOICE
STUDENT'S VOICE



正しい研究法を学び、
臨床上の課題を解決する能力を養う。

私自身、過去に自分が行った臨床研究や症例報告に多くの疑問を感じていました。「その方法で本当に結論は導き出せたのか?」「結果の解釈はそれで正しかったのか?」大学院にて「研究とは何か」という問いを通じ、研究計画や研究方法について基礎から学びました。

現在の医療でエビデンスが重要視されているように、リハビリテーション分野の研究においても高い質が求められています。その質の高さは特殊な機材やソフトウェアを使用した研究をすることはなく、正しい方法で確かな結論を出すことだと思います。私の研究は脳卒中、動作解析、筋電図、脳活動、身体活動量、疲労などがテーマですが、大学院生に対しては幅広い分野の研究を指導できる体制を整えています。本大学院に入る時点では臨床や研究の経験が浅くても構いません。臨床上の疑問を解決したい方や研究力を身につけたい方は、是非共に学び成長していきましょう。

神経系リハビリテーションコース
准教授 藤田和樹



仕事と研究で充実した毎日を過ごしています。

臨床活動と並行して研究活動を進めたい傍ら、先輩方のご助力を賜りながら自分の知識不足で研究計画が上手く立てられず歯がゆい思いがあり、大学院への進学を希望しました。

本学は系列病院があることで臨床と密接に結びついた研究が行えることが魅力だと感じています。また、実験機器も多くそれらの経験に長けた先生が多数在籍しておられるため、どんな分野の疑問においても相談でき、様々な研究テーマに取り組むことができます。その他にも、ゼミでは他の院生と各々の研究テーマについて話し合う場が設けられており活発な討議が行われます。毎回、新しい発見が得られるため参加するのが非常に楽しみです。私は特に、片麻痺患者様の自動車運転操作について研究を行っています。仕事をしながらの研究活動は大変なこともありますが研究に対する姿勢や知識が学べることで、日々理学療法士としてステップUPしていくような感覚を味わっています。

神経系リハビリテーションコース
小川智生
(理学療法士)

